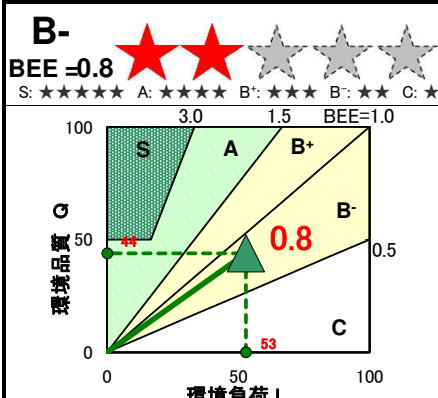
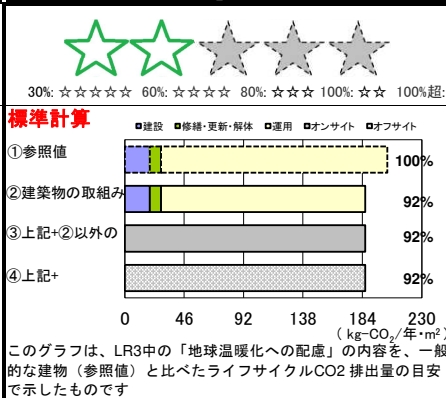
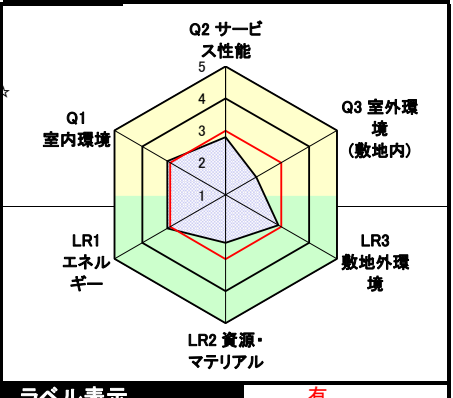
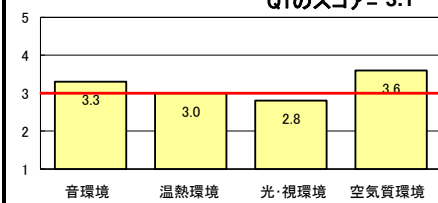
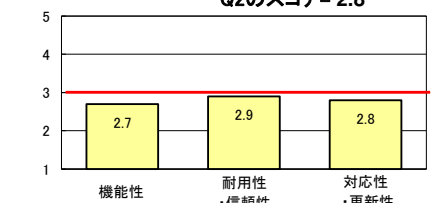
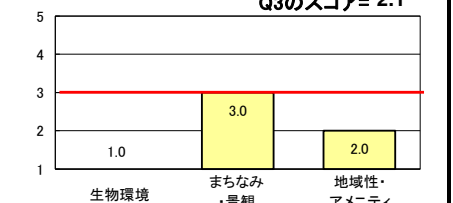
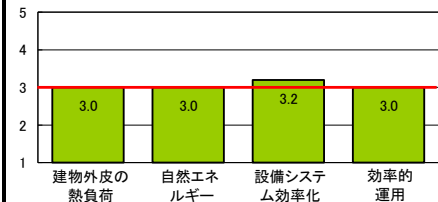
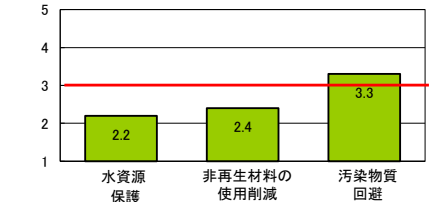
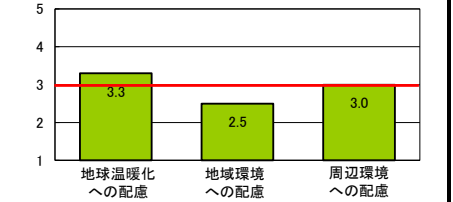




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称) TOYOSAKI PROJECT	
建設地	北区豊崎1丁目	
建築用途	共同住宅、自動車庫、自転車駐車場、事務所	
建築主		
設計者		
敷地面積	730.93 m ²	
建築面積	368.35 m ²	
延床面積	2,409.38 m ²	
構造/階数	RC造 / 地上9階	
完了年(予定)	2024年2月	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)
B- BEE=0.8 ★ ★ ★ ★ ★ S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ C: ★ 		★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★ ★ ★ ★ ★ 60%: ★ ★ ★ ★ ★ 80%: ★ ★ ★ ★ 100%: ★ ★ 100%超: ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		
		
ラベル表示		有
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.7		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.1	Q2のスコア= 2.8	Q3のスコア= 2.1
		
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 2.8		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.1	LR2のスコア= 2.5	LR3のスコア= 2.9
		
3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクル排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。そして、居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q2 サービス性能 住居・宿泊部の天井高2.6m。そして、排水VP(B)、通気VP(A)、冷媒管(C)、Eは不使用。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー [BEI]=0.97 [BEIm]=0.82	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が92%。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.3	ライフサイクルCO2排出率が92%。
配慮事項	特になし。		

エネルギー削減

直接利用

評価は、CASBEE大気みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。
「CASBEE 大気みらい 新築」2018年版 受付番号 令和4年度 旭216

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0	
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0	
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0	
配慮事項	特になし。		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0	
配慮事項	特になし。		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.2	[BEI]=0.97 [BEIm]=0.82
配慮事項	特になし。		

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級3 (相当)	0.80	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.97	0.82